

シフォニア岩国
コンサートホール

クラシック音楽の 宝石箱



松本志のぶ (司会)

2023年12月9日(土)
14:00開演 (13:30開場)

- ショパン: 幻想即興曲 (ピアノ: 横山幸雄)
- サン＝サーンス: 動物の謝肉祭～「白鳥」 (チェロ: 佐藤晴真, ピアノ: 横山幸雄)
- シューマン: アダージョとアレグロ (チェロ: 佐藤晴真, ピアノ: 横山幸雄)
- ビゼー: アルルの女～「メヌエット」 (フルート: 高木綾子, ハープ: 吉野直子)
- フォーレ: シシリエンヌ (フルート: 高木綾子, ハープ: 吉野直子)
- サラサーテ: ツィゴイネルワイゼン (ヴァイオリン: 徳永二男, ピアノ: 横山幸雄)
- モーツァルト: アイネクライネ・ナハトムジーク～第1楽章
- 武満 徹: 他人の顔～「ワルツ」
- ヘンデル: オンブラ・マイ・フ (カウンターテナー: 村松稔之)
- ヴィヴァルディ: 「四季」より
 - 「春」第1楽章 (ヴァイオリンソロ: 徳永二男)
 - 「夏」第1楽章 (ヴァイオリンソロ: 川田知子)
 - 「秋」第1楽章 (ヴァイオリンソロ: 南紫音)
 - 「冬」第1楽章 (ヴァイオリンソロ: 漆原啓子)

アンサンブル: スーパー・クラシック・アンサンブル

【チケット価格 (全席指定・税込)】 4,000円 | 友の会会員: 3,600円

友の会優先発売日 8月2日(水) 10:00

電話 優先発売初日のみ 0827-29-4400 | インターネット (24時間ご予約可能) ▶
(受付時間 10:00～19:00)



シフォニア岩国窓口 (優先発売2日目以降) 10:00～19:00

一般発売 8月16日(水) 10:00

電話 0827-29-1600 (受付時間 10:00～19:00 / 初日のみ 12:00)
インターネット (24時間ご予約可能) / シフォニア岩国窓口 10:00～19:00

- チケット取り扱い
- ローソンチケット [Lコード: 61979] ● チケットぴあ [Pコード: 246-531]
 - 岩国: ふちだ楽器店 / 周東パストラルホール ● 周南: 周南市文化会館
 - 山口: 山口県職員会館 ● 広島: エディオン広島本店東館9Fプレイガイド

【お問い合わせ】
シフォニア岩国 0827-29-1600 (受付時間 10:00～19:00)
〒740-0016 岩国市三笠町1-1-1 <http://www.sinfonia-iwakuni.com>



- ※ 駐車スペースには限りがありますので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。
満車の場合は近隣の有料駐車場をご案内いたします。
- ・ JR岩国駅から南へ約800m (徒歩約10分) ※ JR広島駅からJR岩国駅まで約50分
 - ・ 山陽自動車道 岩国ICから車で約20分 / JR山陽新幹線 新岩国駅から車で約25分
 - ・ 岩国錦帯橋空港から車で約5分 ※ 搭乗・到着に合わせてバスがあります

主催: 一般社団法人 日本クラシック音楽事業会 / AMATI
シフォニア岩国 指定管理者 サンドリー・パブリシティサービスグループ
後援: 山口県 / 山口県教育委員会 / 岩国市 / 岩国市教育委員会 / 岩国市文化協会

※ 未就学児のご入場は御遠慮いただいております。※ 車イスでご入場のお客様はお気軽にご相談ください。※ やむを得ない事情により、出演者・曲目・曲順が変更になる場合がございます。予めご了承ください。※ 発熱等の体調不良がある場合はご来場をお控えください。※ 会場内でプラボー等の声援をされる場合はマスクのご着用をお奨めします。※ 今後の社会情勢や新型コロナウイルス感染症の動向によって、感染予防対策のお願いを変更する場合がございます。最新の情報は、ホームページをご覧ください。

助成:



文化庁文化芸術振興費補助金
(統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2))
独立行政法人日本芸術文化振興会



(クラシック音楽の宝石箱)による。この企画は、文化庁の支援のもと、クラシック音楽界を支える事業者が横断的に協力して実現しました。クラシック音楽のエッセンスを凝縮した美しい旋律、様々なスタイルの楽器、そして日本が誇るトップスターたちが次々と登場する目眩くひとときです。クラシック音楽ファンも唸る内容ですが、今からクラシック音楽を聴いてみようという皆さまにも格好のコンサートです。ご家族、親子、カップル、お友達、どうぞ皆さままでご来場ください。必ずや、クラシック音楽の魅力の虜になることでしょう。このコンサートが、あなたの人生の彩りになりますよう。



徳永二男 (ヴァイオリン)
Tsugio Tokunaga, Violin

人気、実力ともに日本を代表する音楽家。日本楽壇史上最年少のコンサートマスターとして東京交響楽団に入団。文化庁在外派遣研修生としてベルリンへ留学。1976年、NHK交響楽団のコンサートマスターに就任。N響在籍中よりヨーロッパ、アメリカ各地から招かれ、ソロや室内楽コンサートにたびたび出演。94年にN響を退団、ソロ、室内楽に専念。国内主要オーケストラのみならずモントリオール響、イギリス室内管、ウィーン室内管なども共演。92年より鎌倉芸術館ゾリステンを主宰。96年から宮崎国際音楽祭の総合プロデューサーを経て2011年からは音楽監督を務める。24年より広島交響楽団ミュージックアドバイザーに就任が決まっている。16年度文化庁長官表彰を受ける。CDも多数リリース。



漆原啓子 (ヴァイオリン)
Keiko Urushihara, Violin

高い技術力と深みある音楽性で飛躍する本格派ヴァイオリニスト。第8回ヴィニャフスキ国際コンクールにおいて最年少18歳で日本人初の優勝。その翌年、東京藝術大学入学と同時に本格的演奏活動を開始。1986年ハレー・ストリング・クァルテットとして民音コンクール室内楽部門で優勝並びに斎藤秀雄賞を受賞。ソリスト、室内楽奏者としての活動はいずれも高く評価され円熟期を証明している。CDは文化庁芸術祭レコード部門優秀賞、レコード芸術特選盤に選出されるなど注目を浴びる。現在国立音楽大学教授、桐朋学園大学特任教授。公式サイト <https://urushihara-keiko.com/>



吉野直子 (ハープ)
Naoko Yoshino, Harp

ロンドン生まれ。6歳よりロサンゼルスにて、スーザン・マクドナルド女史のもとでハープを学び始めた。第9回イスラエル国際ハープ・コンクールに参加者中最年少で優勝。ベルリン・フィル、イスラエル・フィル、フィラデルフィア管、小澤征爾、メータ、クレーメル、バユなど、国内外の主要オーケストラ、指揮者、ソリストと数多く共演を重ねている。また、ハープの新作にも意欲的に取り組み、武満徹「そして、それが風であること」を知った、細川俊夫「ハープ協奏曲」など初演した作品は数多い。CD録音も活発に行っており、2016年からは自主レーベルのグラツィオソ(grazioso)による新たなプロジェクトを開始。最新盤は「ハープ・リサイタル〜Intermezzo〜」。



南紫音 (ヴァイオリン)
Shion Minami, Violin

2005年ロン・ティボー国際コンクール第2位を受賞し、一躍国際的注目を集めた若手実力派。15年には離間で知られるハノーファー国際ヴァイオリン・コンクール第2位を受賞。ほかアルベルト・クルク国際ヴァイオリン・コンクールにも優勝。これまでにフランス国立管弦楽団、リール国立管弦楽団、サンカルロ劇場管弦楽団、ミラノ・スカラ座室内合奏団とも共演。スペイン・ビルバオ交響楽団と日本ツアーも好評を博した。20年に、ペーター・ヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会を清水和音氏をパートナーに迎えて行い大きな話題を集めた。CDはユニバーサルミュージックより3枚リリース。10年ホテルオークラ賞、11年出光音楽賞、17年北九州市民文化賞受賞。



村松稔之 (カウンターテナー)
Toshiyuki Muramatsu, Countertenor

東京藝術大学音楽学部、同大学院修士課程独唱科を首席で修了。伊ノヴァーラG.カンテリ音楽院古楽声楽科で研鑽を積む。新国立劇場2022/2023シーズン開幕公演ヘンデル「ジュリオ・チェウザレ」ニレノ役で高い評価を得る。また2022年にリリースされたジャズアレンジ武満徹作品アルバム「小さな空」(カメラタ)が「レコード芸術特選盤」に選出。古楽の枠だけにとられない幅広いジャンルのレパートリーで活躍の場を広げている。



横山幸雄 (ピアノ)
Yukio Yokoyama, Piano

第12回シヨパン国際ピアノコンクールにおいて歴代の日本人として最年少入賞を果たし、文化庁芸術選奨文部大臣など数多の賞を受賞。ポーランド政府より「シヨパン・パスポート」を授与。自ら企画する「入魂のシヨパン」はギネス世界記録に認定された。2019年3日間でシヨパンが作曲した240曲の作品全てを演奏するプロジェクトを成功させ、自らのライヴワークともいえる「ペーター・ヴェン・プラス」は毎年好評を博している。2021年デビュー30周年記念CDをソニーミュージックよりリリース。故中村絨子女史の遺志を引き継ぎ、日本パレフェス協会会長を務めている。公式サイト <http://yokoyamayukio.net/>



川田知子 (ヴァイオリン)
Tomoko Kawada, Violin

東京芸術大学を首席で卒業。1991年シヨパ国際コンクール優勝。ソリスト、コンサートミストレス、室内楽や後進の指導など多方面で活躍。2003年度エクソンモービル音楽賞、洋楽部門奨励賞受賞。平成15年度国際交流基金派遣事業で中東でリサイタル。2007年イエス・キッドゥーとブダペストで共演。2019年パッハ無伴奏全曲演奏会を行い絶賛された。マイスター・ミュージックより「J.S.バッハ・無伴奏ヴァイオリンソナタとバルティータ」、ヴィオラの須田祥子と「スターライト〜ヴァイオリンとヴィオラの二重奏〜」等CD11枚リリース。宮崎国際音楽祭に毎年参加、ピンカス・ズーカマンと室内楽で共演。洗足学園音楽大学講師、東京芸術大学音楽学部非常勤講師。



高木綾子 (フルート)
Ayako Takagi, Flute

東京芸術大学を経て、同大学院修了。日本フルートコンベンションコンクール優勝、日本管打楽器コンクール第1位および特別賞、日本音楽コンクール第1位、新日鐵音楽賞、ジャン・ピエール・ランパル国際フルートコンクール第3位、神戸国際フルートコンクール第3位など多数の受賞歴を誇る。これまでに国内主要オーケストラとの共演はもとより、サンクトペテルブルク響、パリ室内管などと共演。CD録音も活発に行っており、2000年3月にCDデビューし、以降イェベックス、日本コロムビアより多数リリース。現在、東京芸術大学准教授、洗足学園音楽大学客員教授、日本大学芸術学部、武蔵野音楽大学、桐朋学園大学の非常勤講師として後進の指導にもあたっている。



佐藤晴真 (チェロ)
Haruma Sato, Cello

現在将来を最も期待される新進気鋭のチェロ奏者。2019年、ミュンヘン国際音楽コンクールチェロ部門において日本人として初めて優勝。18年にはルソワフスキ国際チェロ・コンクール第1位および特別賞を受賞した。1998年名古屋出身。第83回日本音楽コンクールチェロ部門第1位および徳永賞、黒柳賞など受賞多数。バイエルン放送響をはじめ国内外の主要オーケストラと共演しており、今後もブラハ放送響などと共演予定。リサイタル、室内楽でも好評を博している。20年11月には、名門ドイツグラモフォンよりデビューアルバムとなる「The Senses〜ブラームス作品集〜」をリリース。同年、第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第30回出光音楽賞受賞。現在、ベルリン芸術大学在学中。使用楽器は宗次コレクション貸与のE. ロッカ1903年。



松本志のぶ (司会)
Shinobu Matsumoto, MC

上智大学外国語学部卒業後、日本テレビ入社。「24時間テレビ」総合司会、「行列のできる法律相談所」レギュラーMC他、報道・情報各種番組でも活躍。09年よりフリーアナウンサーとしてTBS「教科書にのせたい!」レギュラーMC等も務める。「報知映画賞」選考委員やクラシックコンサートの司会等、活動の場を広げている。



スーパー・クラシック・アンサンブル

- ヴァイオリン 漆原啓子、小川恭子、落合真子、川田知子、城戸かれん、杉山和駿、武元佳穂、徳永二男、南紫音、吉江美桜
- ヴィオラ 鳥英恵、鈴木大樹、山本周
- チェロ 荒庸子、山本裕康
- コントラバス 加藤雄太
- チェンバロ 諸田由里子

難しい、だから面白い! 奥深い本物のクラシックを“良いとこ取り”のガラ・コンサートで

「クラシック・キャラバン」はコロナ禍を乗り越えるため2021年に発足したプロジェクトで、今回3年目を迎えます。日本クラシック音楽事業協会加盟社が総力を結集し、通常の公演では実施し得ない最上級の出演者と、バラエティに富んだ内容、そして十分な聞き応えのあるオリジナルコンサートを、全国27都道府県で開催します。今回は日本を代表する音楽家を企画アドバイザーに起用しさらに芸術性を充実させる等、よりパワーアップした内容になりました。どうぞ心ゆくまでお楽しみください。

全国各地の開催情報はQRコードからご覧ください。▶

